



「芳ヶ平湿原周辺フォトコンテスト」2013 最優秀作品「朝もやの湿原」(撮影 平松啓一郎)

芳ヶ平湿原周辺の ラムサール条約登録を 実現する会

目的

平成 25 年 3 月 24 日(日)、中之条町と草津町の関係者が一堂に会し、「芳ヶ平湿原周辺のラムサール条約登録を実現する会」発会式が行われました。

実現する会では、湿原周辺の生態系を維持しつつ、そこから得られる恵みを持続的に活用することで地域の活性化に結び付け、その資産を未来へ引き継いでいくことを目的に、ラムサール条約登録を目指します。

今後の活動は、芳ヶ平湿原周辺の自然を守るため、科学的な調査を始めるとともに、素晴らしさを広く人々に伝えるため、広報・啓蒙活動を行ってまいります。

主な活動内容

平成 25 年度

- 銀座 ぐんまちゃん家(ぐんま総合情報センター) 推進資料展示(4月~9月)
- 芳ヶ平湿原周辺自然環境調査事業の実施
上記調査に伴う調査委員会の開催「4回」
- 芳ヶ平湿原周辺自然観察会の開催(7月~9月)
- 芳ヶ平湿原周辺フォトコンテストの実施
- 自然観察指導員講習会の開催(日本自然保護協会共催事業 9月)
- 芳ヶ平湿原周辺資料の常設展示会場の開設(六合支所 10月)
- 同上 記念講演(日本自然保護協会理事長 亀山章氏)
- 講演会(環境省自然環境局野生生物課長 中島慶二氏 11月)

平成 26 年度

- ラムサール条約湿地情報票等作成支援業務の実施
- 芳ヶ平湿原周辺自然観察会の開催(7月~10月)
- 自然観察指導員会の開催(日本自然保護協会共催事業 8月)
- 銀座 ぐんまちゃん家(ぐんま総合情報センター) 芳ヶ平湿原周辺フォトコンテスト入賞作品展示(9月)
- 登録に向けた名称を「芳ヶ平湿地群(Yoshigadaira Wetlands)」とし、ロビー活動及び広報・啓蒙活動の継続

「芳ヶ平湿原周辺のラムサール条約登録を実現する会」事務局

- 中之条町役場 企画政策課 ラムサール条約推進室
〒377-0494
群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町 1091 番地
電話：0279-75-8837 (直通)
FAX：0279-75-6562 (代表)
- 草津町役場 企画創造課
〒377-1792
群馬県吾妻郡草津町大字草津 28 番地
電話：0279-88-0001 (代表)
FAX：0279-88-0002 (代表)



群馬県北西部に位置する芳ヶ平湿地群は、中之条町と草津町に広がる草津白根山(標高 2,160m)の火山活動に大きく影響を受けた標高約 1,200m から約 2,150m に分布する、湿地、池沼群です。アクセスは県天然記念物チャツボミゴケからの上りルートと、草津白根山または長野県境の渋峠からの下りルートがあります。いずれのルートも登山口駐車場まで、中之条町の中心部(役場のある大字中之条町)から車で約 1 時間 30 分です。また草津町からは約 30 分です。



芳ヶ平湿原

湿原には池塘(ちとう)と呼ばれる池が点在し、その周囲にはワタスゲの群生が見られます。春の新緑、夏のワタスゲ、秋の紅葉、どれも魅力的です。

大平湿原

芳ヶ平湿原から歩くこと 50 分、大沢川を渡るとすぐに目の前に広がる湿原です。一見草原のようですが、春にミズバショウも見られます。



草津白根山湯釜

直径約 300m、水深約 30m、水温約 18℃の火口湖です。pH が 1.0 前後と、世界でも有数の酸性度が高い湖と言われています。湖水は神秘的な白濁青緑色です。



大池

平兵衛池からつづら折りの山道を下っていくと、急に視界が開け広がるのが大池です。最大の池で、その広々とした湖面に山の稜線と白雲を映す姿は詩情をそそります。



水池

うっそうとした森の中にひっそりとたたずむ水池。黒く光る水面は他の池とは違った神秘的な趣。もう少し下れば、チャツボミゴケの群生地にとどり着きます。



チャツボミゴケ公園

俗称「穴地獄」に自生しているのが「チャツボミゴケ」です。酸性の水の流れる所に生育します。広範に自生しているのは全国でも珍しく、本州では中之条町のチャツボミゴケ公園だけです。

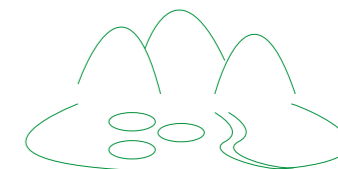


平兵衛池

大平湿原から 40 分のところにある平兵衛池。透明な湖面は周りの緑を写し美しい。龍神伝説も伝わるその姿は神秘的です。



ラムサール条約登録湿地を目指して



芳ヶ平湿地群

Yoshigadaira Wetlands

- ・芳ヶ平(よしがだいら)湿原
- ・大平(おほだいら)湿原
- ・平兵衛池(へいべいけ)
- ・大池(おおいけ)
- ・水池(みずいけ)
- ・チャツボミゴケ公園穴地獄(あなじごく)
- ・草津白根山湯釜(ゆがま)



芳ヶ平湿原周辺の ラムサール条約登録を 実現する会

群馬県 中之条町・草津町

貴重な自然の宝庫 「芳ヶ平湿地群」 Yoshigadaira Wetlands

群馬県の北西部、中之条町と草津町に広がる芳ヶ平湿原及びその周辺を、ラムサール条約登録に向け、平成25年度に自然環境調査を実施しました。調査結果からは、

◎草津白根山の火山活動で形成された地形に周辺の山地からの伏流水が流れ込み、池沼として形成されたものである。

◎生息生育する絶滅危惧種・準絶滅危惧種としては、(IUCN: 国際自然保護連合) モリアオガエルや環境省

レッドリストのホソカワモズク・ヒメミズニラ・ミサゴ・クロサンショウウオ・ミヤマモンキチョウ浅間山系亜種が確認されています。

標高2,160mの草津白根山から約1,200mのチャツボミゴケ公園(穴地獄)までの範囲を「芳ヶ平湿地群」(芳ヶ平(よしがたいら)湿原・大平(お

おだいら) 湿原・平兵衛池(へいべえいけ)・大池(おおいけ)・水池(みずいけ)・チャツボミゴケ公園(穴地獄(あなじごく)・草津白根山湯釜(ゆがま)としラムサール条約登録の名称といたしました。

この一帯は群馬、新潟、長野の三県にまたがる上信越高原国立公園に指定されており、ワタスゲをはじめ様々な高山植物や、特別天然記念物であるニホンカモシカなど貴重な動植物が生息しています。

また、群馬県指定文化財天然記念物であるチャツボミゴケの大群落がある、チャツボミゴケ公園が存在します。

国道292号沿いの草津白根レストハウスから徒歩で1時間。荒涼とした白根山の湯釜周辺の風景から突然穏やかで優しい風景が広がります。そこが芳ヶ平湿原です。

湿原にある芳ヶ平ヒュッテ(山小屋)は、ハイカーの憩いの場であるとともに、湿原保護の拠点となっています。



大自然が育む 恵みの湿原 幻想的な別天地へ ようこそ



【モリアオガエル】
日本固有種であり、高標高地における希少種の生息地であると確認されました。



【アサギマダラ】
渡り蝶としても知られ、昨年マーキングした蝶が(六合地区・花楽の里)、2,000km以上離れた沖縄県八重山郡与那国町で捕獲されました。
・マーキングID : NKR 239 カク 9/28
・捕獲日 : 2013/11/27
・移動日数 : 60日



芳ヶ平湿原の木道から草津白根山を望む(7月中旬撮影)

ラムサール条約とは？ その目的とねらい

1971年にイランのラムサールで開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。この条約が、開催地にちなんで一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。

現在、条約締結国165か国、世界で2,106箇所、日本で46か所、群

馬県内では尾瀬と渡良瀬遊水地の2か所が登録されています(2013年2月現在)。

その目的は、「保全・再生」「賢明な利用」「交流・学習」と言われています。貴重な生態系を「保全・再生」するのほもちろんですが、そこから得られる恵みを「賢明な利用」として活用し、「交流・学習」を通して広めていくことも重視されています。

国内の登録地第1号は北海道の釧路湿原ですが、ラムサール条約登録により、貴重な自然が大切に守られるとともに、その豊かな資源を国内外に発信

することで、そこに魅了された多くの人が訪れる観光地となっています。

芳ヶ平湿地群においても、自然環境に配慮した観光や地域のブランド化により、多くの人がその価値を認め、訪れる場所になってほしいと願っています。

本会では、平成27年6月に開催されるCOP12(締約国会議・南米ウルグアイ、プンタ・デル・エステ)において登録されることを目指しています。

ラムサール条約湿地とは？

日本を含めたラムサール条約の締結国は、自国の湿地を条約で定められた国際的な基準(9つの基準)に沿って、条約事務局が管理する「国際的に重要な湿地に係る登録簿」に掲載します。これが「ラムサール登録湿地」です。

なお、日本では登録の条件を、①国際的に重要な湿地であること(国際的な基準のいずれかに該当すること)、②国の法律(自然公園法、鳥獣保護法など)により将来にわたって自然環境の保全が図られること、③地元住民などから登録への賛意が得られること、としています。



草津から志賀高原へ抜ける国道292号沿いの日本国最高地点にある駐車スペース(中之条町大字入山地区)。標高2,172mのこの地点の眼下に、屏の写真のとおり幻想的な芳ヶ平湿原を眺めることができます。



草津から志賀高原へ抜ける国道292号沿いの(中之条町大字入山地区・山田峠、標高2,050mの地点に中央分水嶺(高さ2mの石柱)が中之条町により設置されました。
中央分水嶺とは、雨水が太平洋側と日本海側とを分かつ分水界を指します。この地点を境に、中之条側に降った雨や雪は吾妻川から利根川に流入し、太平洋に流れます(利根川水系)。長野県高山村側に降った雨や雪は松川から千曲川に流れ込み、新潟県で信濃川と名前を変えて日本海に流れます(信濃川水系)。